

# 神戸電子専門学校 2019年度シラバス

## ■科目基本情報

科目名	プレゼンテーション	科目コード	1540
シラバスコード	194A12-1540		
授業時数/週	1時間		
開講年次・学期	2年・通期		
必修/選択区分	必修		
担当教員	朝倉 典子		
教員の実務経験	実務経験のある教員による授業科目		
職業実践専門課程 備考		連携企業等	

## ■科目詳細情報

授業概要	OfficeアプリケーションのPowerPointを使って、基本操作及び基礎知識の習得と、実習を通してプレゼンテーション資料の作成と発表・評価を行い、プレゼンテーション技術が向上することを目標とする。
到達目標（前期）	プレゼンソフトの利用方法と自己アピール能力の習得を目標とする。
到達目標（後期）	共同作業による制作手順の習得・コミュニケーション能力の習得およびゲーム制作発表時に役立つプレゼンテーション能力の習得を目標とする。
授業方法	情報活用プレゼンテーション PowerPoint 2016 対応を教科書とノートパソコンおよびプロジェクターを用い作品発表の場を活用
実践的教育の内容	プロジェクターを用い作品を各々発表し、実務経験上のアドバイスをしながら、学生同士評価しあいお互いに向上し合う。その他、色彩トレーニングを行う。
評価方法（前期）	課題提出および発表（採点表の入力と担当講師による評価シートの入力による評価100%）
評価方法（後期）	課題提出および発表（採点表の入力と担当講師による評価シートの入力による評価100%）
授業外における学修	授業内に完成しなければ次回授業までに製作
授業計画（前期）	第1週 自己アピール能力の向上 個人評価などシート作成（手書き）を行う。
	第2週 プレゼンソフトの利用方法の習得(1) 情報活用プレゼンテーションPowerPoint 2016対応を教科書を用いた講義・実習（テーマの利用・プレースホルダの利用）を行う。
	第3週 プレゼンソフトの利用方法の習得(2) 情報活用プレゼンテーションPowerPoint 2016対応を教科書を用いた講義・実習（テンプレートの利用・作成）を行う。
	第4週 プレゼンソフトの利用方法の習得(3) 情報活用プレゼンテーションPowerPoint 2016対応を教科書を用いた講義・実習（画面切り替えなど）を行う。
	第5週 プレゼンソフトの利用方法の習得(4) 情報活用プレゼンテーションPowerPoint2016対応を教科書を用いた講義・実習（アニメーションの利用）を行う。
	第6週 プレゼンソフトの利用方法の習得(5) 情報活用プレゼンテーションPowerPoint2016対応を教科書を用いた講義・実習（効果の利用・活用方法）を行う。
	第7週 プレゼンソフトの利用方法の習得(6) 情報活用プレゼンテーションPowerPoint2016対応を教科書を用いた講義・実習（リハーサル機能）を行う。
	第8週 自己アピールプレゼンテーションの制作(1) PowerPoint 2021による個人制作（企画書）を行う。
	第9週 自己アピールプレゼンテーションの制作(2) PowerPoint 2022による個人制作（シート作成）を行う。
	第10週 自己アピールプレゼンテーションの制作(3) PowerPoint 2016による個人制作（図・グラフへの展開）を行う。
	第11週 自己アピールプレゼンテーションの制作(4) PowerPoint 2016による個人制作（リハーサル）を行う。
	第12週 自己アピールプレゼンテーション発表・相互評価(1) プロジェクターを用いた制作発表・評価シートの入力（6～7人ずつのプレゼンテーション）を行う。
	第13週 自己アピールプレゼンテーション発表・相互評価(2) プロジェクターを用いた制作発表・評価シートの入力（6～7人ずつのプレゼンテーション）を行う。
	第14週 自己アピールプレゼンテーション発表・相互評価(3) プロジェクターを用いた制作発表・評価シートの入力（6～7人ずつのプレゼンテーション）を行う。
	第15週 自己アピールプレゼンテーション発表・相互評価(4) プロジェクターを用いた制作発表・評価シートの入力（6～7人ずつのプレゼンテーション）を行う。
	第16週 自己アピールプレゼンテーション発表・相互評価(5) プロジェクターを用いた制作発表・評価シートの入力（6～7人ずつのプレゼンテーション）を行う。
	第17週 自己アピールプレゼンテーション発表・相互評価(6) プロジェクターを用いた制作発表・評価シートの入力（6～7人ずつのプレゼンテーション）を行う。

神戸電子専門学校 2019年度シラバス

授業計画（後期）	第18週	色彩トレーニング(1) 色相環・トーン図を用いた色彩の基本ルールの習得（色相環）を行う。
	第19週	色彩トレーニング(2) 色相環・トーン図を用いた色彩の基本ルールの習得（トーン図）を行う。
	第20週	色彩トレーニング(3) 色相環・トーン図を用いた色彩の基本ルールの習得（様々なルール）を行う。
	第21週	色彩トレーニング(4) 色相環・トーン図を用いた色彩の基本ルールの習得（課題作成）を行う。
	第22週	グループ制作実習方法習得(1) 時事問題をテーマにグループ制作（就活を見据えた時事問題の知識習得）（チーム・テーマ決定）を行う。
	第23週	グループ制作実習方法習得(2) 時事問題をテーマにグループ制作（就活を見据えた時事問題の知識習得）（企画書作成・スケジュール表・担当分担）を行う。
	第24週	グループ制作実習(1) 時事問題をテーマにグループ制作（就活を見据えた時事問題の知識習得）（制作1）を行う。
	第25週	グループ制作実習(2) 時事問題をテーマにグループ制作（就活を見据えた時事問題の知識習得）（制作2）を行う。
	第26週	グループ制作作品発表および相互評価(1) 発表を評価し質疑応答（3～5チームずつのプレゼンテーション）を行う。
	第27週	グループ制作作品発表および相互評価(2) 発表を評価し質疑応答（3～5チームずつのプレゼンテーション）を行う。
	第28週	グループ制作作品発表および相互評価(3) 発表を評価し質疑応答（3～5チームずつのプレゼンテーション）を行う。
	第29週	グループ制作作品発表および相互評価(4) 発表を評価し質疑応答（3～5チームずつのプレゼンテーション）を行う。
	第30週	グループ制作作品発表および相互評価(5) 発表を評価し質疑応答（3～5チームずつのプレゼンテーション）を行う。
	第31週	ポートフォリオ作成(1) 個人制作のポートフォリオを作成（ポートフォリオについて）する。
	第32週	ポートフォリオ作成(2) 個人制作のポートフォリオを作成（作成）する。
	第33週	ポートフォリオ作成(3) 個人制作のポートフォリオを作成（作成）する。
	第34週	ポートフォリオ作成(4) 個人制作のポートフォリオを作成（活用練習）する。
教科書・教材	情報利活用プレゼンテーション PowerPoint 2016 対応 ISBN978-4-8222-9797-8	
参考文献・資料	特になし	
履修上の留意点	特になし	